創立５０周年　校訓「みんななかよし　丈夫に育て」

新山小の学びの木：学校教育目標と3つの力

めざす学校像

多様な子どもたちを誰一人取り残さない温かな学校



学校の価値

- **安心・安全**
  一人一人の違いを尊重し、安心して学び・生活できる学校
- **つながり・協働**
  子ども・教職員・保護者・地域が信頼し合い、共に育てる学校
- **成長・夢**
  挑戦を応援し、夢や希望を育む学校
- **地域とともに**
  地域の力を生かし、地域に開かれた学校

学校教育目標

**夢に向かって
心豊かに　たくましく生きる
児童の育成**

めざす児童像

夢に向かう子

自ら考え、
自分で決めた目標に
向かって努力する
主体的に学ぶ子



心豊かな子

自分にされてイヤなことは
絶対にしない。
自分も相手も大切にし、
思いやりをもち
協力し合う。
ふるさとや新山小を
愛する子。



たくましい子

命の大切さを理解し、
苦手なことにも
最後まであきらめず
取り組む。
粘り強い子。





めざす学校像

〈児童にとって〉

- ○ 一人一人が大切にされ、安心して学び、生活し、楽しく通える大好きな学校
- ○ 自分も相手も大切にすることができる学校
- ○ 違い・個性を認め、良さに気付き高め合う仲間がいる学校



〈教職員にとって〉

- ○ 共に学び合い、アイデアを出し合って、子ども一人一人の学びを最大限に引き出す。やりがいがあり、挑戦できる学校。
- ○ 失敗を恐れず、悩みを相談できる環境の中で、さまざまな人とフラットに対話し、見聞き、読み考えながら、互いに成長し高め合える学校



〈保護者・地域にとって〉

- ○ 信頼して通わせることができ、共育・協働できる、愛すべき地域の学校
  - ・共育・・・力を合わせて、一緒に取り組む
  - ・協働・・・ともに学び、育ち合う
  - ☆共通の目的に向かって、一緒に考え、行動する、一緒に作り上げる



めざす教師像

1 学び合う教師
子どもの主体的な学びを支援する伴走者



2 目の前にいる子どもをたった一人のかけがえのない存在として受けとめ、子どもの願いや思いに寄り添える教師



3 特別な配慮や支援を必要とする多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、全ての子どもの可能性を引き出し、一人一人の自己実現を支援していくことに全力で取り組む教師



4 以下、3つの視点で全ての教育活動を構想し、実践・評価・改善していく教師

- 「子どもの幸せにとってどうか」
  ⇒ 教育活動や制度を考えるとき
  （学校行事、指導方針）
- 「子どもにとって幸せかどうか」
  ⇒ 子どもの日々の実感を考えるとき
  （例：学級の居心地、友達関係）
- 「未来を生き抜き、創造していく子どもたちにとってどうか」



5 良好な人間関係を構築し、組織で協働する教師



6 開かれた教師
家庭・地域と連携、信頼関係の構築により共に育てていく姿勢。



新山小学校は、子どもたち一人一人の幸せを願い、夢の実現に向けて、教職員・保護者・地域が力を合わせて歩み続けます。